

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（手術検体）を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている手術検体を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

術検体を用いた Single Cell RNA seq による疾患の病態解明

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院 泌尿器科

【研究責任者】 渡辺隆太（泌尿器科 助教）

【研究の目的】

過去に受診された患者さんの通常の診療で使用した後に残った試料（手術検体）を使用して1細胞レベルでRNAを検出することで、病因となる遺伝子異常を探索する研究を行うことといたしました。さらに診療録（カルテ）の情報を収集し、疾患における有効な検査・治療方法の検討することを目的としたものであり、今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）2017年4月1日から2027年8月31日の間に外科的手術により摘出され保存されている組織や、今後愛媛大学医学部附属病院で外科的に摘出される予定の摘出組織を対象とします。

対象とする疾患は、肺がん、乳がん、前立腺がん、腎がん、卵巣がん、低悪性度グリオーマ等の腫瘍組織や、石灰化心臓弁など非腫瘍組織を対象とします。

（研究の内容）

愛媛大学内の機器を用いてシングルセルRNA解析を行い、得られた膨大な遺伝子発現データの統計的解析に基づき、原因遺伝子を検索します。

(利用するカルテ情報) 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等

(利用する試料) 通常の診療で使用した後に残った試料 (手術検体)

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

＜試料・情報の管理責任者＞ 愛媛大学医学部附属病院 泌尿器科 渡辺隆太

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院 泌尿器科 渡辺隆太
791-0295 愛媛県東温市志津川
Tel: 089-960-5356